

ゆるる

杜の伝言板

2012
8月号

Vol.183
毎月1日発行

特集
復興への
道



コンバインいただきました。
コメ作り頑張ります!



新聞を読むときのポイントは…

被災した浜の女性たちがビジネスを展開

●NPO法人みらい南三陸

フリースクールならではの長期復興支援

●NPO法人まきばフリースクール

アフリカと共に支援を

●NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ

被災地へ思い出を、被災地から記録を

●NPO法人20世紀アーカイブ仙台

農業を通して浦戸諸島の魅力を発信

●NPO法人浦戸アイランド倶楽部

●トピックス●

ドキドキの夏が始まる! NPOで高校生の夏ボラ体験2012スタート

●みやぎNPOプラザ●

事業計画でお困りの団体に経営コンサルタントがアドバイス!

被災した浜の女性たちが、 ビジネスを展開

● NPO法人みらい南三陸

避難所暮らしの絆を 活かして立ち上げ

NPO法人みらい南三陸は、登米市の避難所で一緒に暮らし続けた女性たちが、絆を活かし立ち上げた団体です。

震災直後、登米市津山若者総合体育館の避難所は、行政やボランティア、自衛隊などの支援が薄く、被災者自らが自治組織を作って、避難所の運営や物資の調達などを行い、ボランティアも口コミで自ら集めていました。「大変な毎日でしたが、被災者同士や支援してくださる方たちとの絆が強まりました」とNPO法人みらい南三陸代表で、避難所の自治会女性代表だった下山うめよさん。

八月には全員が仮設住宅に移り住み、全国の支援者から送ってもらった物資を、下山さんたちが仮設住民に配っていました。いつまでも支援されるだけでなく、自立しなければいけないとそれぞれが考えていたところ、横浜の支援者からNPO法人化を進められ、共感した十名で十月から準備を進め、今年三月にNPO法人の申請を行い、六月に認証されました。

町の特産ワカメを 受注販売

自立のための活動の柱を皆で話し

合った結果、南三陸町の特産ワカメを仕入れて、販売することになりました。そこで地元の水産会社を紹介してもらい、ニトンのワカメを塩蔵代や大型冷蔵庫での保管料なども水産会社に負担してもらえらることになりました。また、十月には、内閣府地域社会雇用創造事業起業支援金として、公益社団法人日本フードセクター経営者協会が行う、ビジネスプランコンペに応募し、採用され百七十万円の助成金を得ることができました。そのお金でワカメの包装袋や、封をするための機械などを購入し、販売の準備を整えました。



▲ワカメを箱詰めする下山さん(真中)たち

ワカメは通常一〜二月に収穫し、入札で値段が決まりますが、みらい南三陸では、前年度の金額を元に金額を決定し、秋口から全国四〇〇〇人の支援者に案内を送り、予約販売を始めました。多くの支援者の方から予約注文を

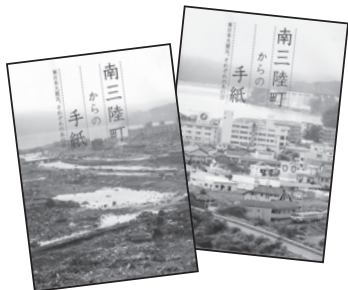
もらい、幸先のよいスタートを切りましたが、実際に今年三月に行われたセリはご祝儀相場もあって、前年の三倍もの値段に跳ね上がり、大赤字に。「商売の怖さを痛感しました。それでも予約注文をくださった方には約束ですから、そのままの金額で販売。心で泣いていました」と下山さん。

その後は二〇〇g三〇〇〇円、五個一セット、七五〇円に変更。南三陸産のワカメは味が良いことから好評で、リピーターも多く、すでに仕入れたワカメの約八割を売り上げました。五〜六人のメンバーは、拠点の戸倉中学校仮設住宅集会所で、袋詰めや梱包などの作業をおこない、時給七〇〇円が支払われ、現在二〜三万円程度の収入になっています。

南三陸町住民の 被災体験手記を出版

さらに立ち上げ時から、もうひとつ取り組みたい事業がありました。それは大震災の体験を、南三陸町住民の方たちに書いてもらい、本にして多くの方、そして後世に伝えたいというものです。避難所に何度か足を運んでくれた、高知県在住のミュージシャンうぐみさんとの話から生まれました。

昨年八月から、仮設住宅を一軒一軒回って話を聞き、体験を手記に



▲震災前の南三陸町の表紙カバーの
下には震災後の街の写真

してもらったように依頼して歩きました。話をして文章に書くのは難しいと断る人が多く、当初苦戦しましたが、書いてよかったという方からの口コミで少しずつ増え、最終的には四十人の方から文章が寄せられました。初めは東京の出版社からの発行で話を進めていましたが編集方針で意見が合わず、一時は発行ができない状況に。しかし、地元の印刷会社や写真を提供してくださる方などに協力者が現れ、助成金の残金を使って「南三陸町からの手紙〜東日本大震災それそれのあの日〜(八〇〇円)のタイトルで、自費出版。読んだ人の心に響き、一、〇〇〇部は二週間で完売。販売収入で増刷を重ね、現在約四、〇〇〇部を売り上げています。

みらい南三陸では、こうした収入は皆さんにも還元したいと、拠点となっている戸倉中学校仮設住宅の方たちを、これまでにお花見やカラオケ大会、温泉旅行などに招待しました。「しばらく一緒に暮らし、少しでも楽しい機会を提供できればと思います」と下山さん。今後も販売収益で、こうした住民サービスを続けながら、自分たちの自立を目指していきます。

NPO法人みらい南三陸

〒986-0781 本吉郡南三陸町戸倉字町1-4
●TEL/FAX : 0226-46-9436
●http://mirai-minamisanriku.jimdo.com/
※ワカメ、書籍ともにHPより購入できます。



NPO法人まきばフリースクールは、『生き辛さを抱えた在りのままの人間同士が支え合って生きる』という理念のもと、一九九九年から栗原市高清水を拠点に、不登校や引きこもり、発達障害など、生き辛さを抱えた本人と家族に対して、心の居場所づくり、自立・教育支援などの事業を行っている団体です。東日本大震災以降は、石巻市大川地区を拠点に被災者支援を続けています。

理念に基づき 支援をスタート

大震災直後は、建物に被害で出てスクールを休校し、関連の高齢者デイサービス施設の、買い出しに追われる生活が続きました。先が見えない状態でしたが、「未曾有の大震災で、生き辛さを抱えた多くの被災者を前に、自分たちが行動し支えにならなければ、これまでスクールで子どもたちに話してきた理念が、ウソになってしまう。理念を失えばNPO法人には何も残りません。まずは私が先頭に立って被災者支援を始めようと、フリースクールの主任を後任に託し、動



▲復興チームリーダーの 中山崇志さん

長期復興支援

NPO法人まきばフリースクール

きだしましたと、理事で復興支援チーム長の中山崇志さん。まずは、三月末に生活用品や水などを集めて、陸前高田に届け、その後も石巻や気仙沼などにも物資を届けていました。

そんな中、日頃から繋がり深いくりこま高原自然学校(以下、くりこま自然学校)のスタッフの塚原俊也さんから、くりこま自然学校が参加し被災地支援を行っている、RQ市民災害救援センター(※注)の拠点の一つ、RQ河北ボランティアセンターで、共に支援をして欲しいと依頼を受け、四月初めから一緒に被災者支援を始めました。

専門性を活かして 子どもの支援を継続

RQ河北ボランティアセンターの近くには、津波で多くの児童や教職員が死亡、行方不明になった大川小学校もあり、まきばフリースクールでは、精神保健福祉士を持つ中山さんが、子どもたちの心のケアのための活動をおこなない、ほかのスタッフや、併設のまきばワークス(働くための練習に取り組む施設)のメンバーらが、ボランティアと一緒に、地域の泥出しやがれき撤去に取り組みました。心のケアは、子どもたちが「やりたい」と想ったことを、自由にやることでき

る場を作り、それを中山さんたちが見守り、時には手助けするなどして子どもたちには心の辛さを抱え、我慢せざる得ない状況にあります。そんな中で自分からやりたいと表現し、そしてそれを大人が受け止めてくれる。そんな経験を繰り返して、小さな想いが形になっていくことで、人や未来を信じられるようになっていきます。フリースクールでの経験を活かし、じっくり時間をかけて、子どもたちを見守っていきます」と中山さん。そのほかにも自然学校のプログラムなどを活かした毎月のイベントや、要望を受けて中高生のための夜の学習会(現在、週三回十九時〜)なども開催していますが、今後子どもたちが必要とする支援を続けていこうと考えています。



▲拠点での子ども達の自然体験

雄勝町の仮設でお茶っこ&便利屋

もう一つ取り組んでいるのが、石巻市雄勝町の峠崎仮設住宅と大須仮設住宅への支援です。毎週二回お茶っこ会を開いているほか、便利屋として電球の取り替えから、草刈、パソコンの指導など、要望に応じて無料で引き受けています。「遠くにある小さな仮設なの

で、なかなかボランティアも来ません。日中働きに人が出ると、残される人はわずか。数としてはとても少ないですが、そうした人たちにこそ、自分たちは必要なのではないかと考え、毎週お茶っこや便利屋を続けています」と中山さん。

この支援にも、スタッフと一緒にまきばワークスのメンバーも参加しています。困っている被災者のために役に立つことは、メンバーの自信につながり、また自分ではどうにもならない大きな困難に遭いながら、一歩を踏み出そうと頑張っている被災者の姿は、メンバーと重なる部分も多く、こうした経験から何かを感じて欲しいと中山さん達は考えています。

今後については「活動を続けていけば、いつか皆それぞれに居場所ができ、活動にあまり人が来なくなってしまう。自分たちにとっては寂しいことですが、それが本来の姿。来なくてもそこを思い出すことで安心できる、そんな心の居場所になっていければと思っています」と話し、どちらの支援も、必要が無くなるまで続けていく予定です。

※RQ市民災害救援センターは、震災直後に、NPO法人「日本エコツーリズムセンター」(東京)が、全国の野外教育活動団体のネットワークを生かして立ち上げ、支援を展開。十二月からは各拠点ごと独自運営を行い、河北はくりこま高原自然学校とまきばフリースクール、そしてボランティアの海住喜世さんの三者を中心に運営。

NPO法人まきばフリースクール
 〒987-2183 栗原市高清水市袖山62-18
 ●TEL:0228-58-4755
 ●FAX:0228-25-4482
 ●http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free/

アフリカと 共に支援を

●NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ



東アフリカのケニアの首都ナイロビにあるキベラスラムのスラム街に、ストリートチルドレンのための小学校、『マゴソスクール』があります。NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ(理事長:石原邦子)は一九九九年からその運営への支援活動や、フェアトレード(※注)活動を行っています。また、二〇一〇年よりケニアにアマニ・ファクトリーを立ち上げ、貧困のため十分な教育を受けることが出来ずにいる、ケニアの若者や障がい者の職業訓練施設の運営を行っています。

ケニアからの 思いがけない贈り物

震災直後、当時の事務所は、足の踏み場もない状態になりました。「活動は止まり何も出来ない状態でした。お世話になっている人たちは、大丈夫かと心配になりました」と当時を思い出し、理事の佐藤優子さんは話します。

一方、日本で震災が起きたことを知ったケニアの『マゴソスクール』では、日本と連絡が取れず、混乱が起きていました。心配した子どもたちは、アマニ・ヤ・アフリカ(以下:アマニ)のメンバーだけではなく、今までマゴソスクールに来た日本人すべてへ向け、祈りの歌を作り、歌いました。その映像が、震災直後の三月十四日にYOUTUBEにアップされ、それがテレビにも取り上げられ話題になりました。

「子どもたちの中には、親もな生活するの大変な子もいます。それでも私たちが思ってくれたことが、とてもうれ



▲左から2人目佐藤さん、3人目石原理事長

しいです。実際に子どもたちと触れ合ったり、話したりすることは少ないですが、この十三年間小さいことをこつこつとやってきた結果が、こつこつとに繋がっているのだと思います。」と佐藤さん。

被災地に野菜を届ける

被災地に援助物資を届けているスタッフから「配給では痛みやすい野菜はなかなか手に入らず、栄養面の偏りが心配される。現場では野菜や果物が欲しい」という話が伝えられました。

そこで、四月から九月までの間、岩手県の農業法人へ出向き、大きさが不十分

や、旬を少し過ぎて出荷が出来ないなどの、規格外の野菜を自分たちが収穫することで、無償で提供してもらうことになりました。また仙台の青果店には、原価で野菜や果物を提供いただき、それらを気仙沼や石巻等の被災地の避難所や仮設住宅へ配る、という活動を毎週末に行い、被災地支援に努めました。

ケニアと日本との 新しい繋がり

そうした被災地に野菜を運ぶ活動から、新たな繋がりも生まれ、仙台市の岡田西町公園仮設住宅の夏祭りに出展した縁で、この仮設住宅の女性会の方々に、『Twende!!しまうまホープくん』の組み立て作業をしてもらうことになりました。

『ホープくん』とは、牛の骨の胴体部分にバナナの葉を巻きつけ、『SAFARI N J E M A』(スワヒリ語で「良い旅と、無地に帰ってき下さい」という意味)と、メッセージが記載してある「しまうまのストラップ」です。これは「マサイ大作戦」と称した、ケニアで商品を制作し、日本で販売し、その収益で、マゴソスクールの教師への給与支援に充てる、「マゴソスクールの教師給与支援プロジェクト」のための商品です。ひとつ二〇〇円で販売し、そのうちの六百五十円はマゴソスクールの教師給与に、三百円はケニアの制作者に、二百円が女性会に渡りました。



▲ホープくんの組み立てをする女性会の皆さん

ケニアからパーツを送ってもらい、昨年の十二月から今年三月まで、週一回おしゃべりをしながら組み立て、合計で六百個制作。女性会の方々は「自分たちはしてもらった。これを組み立てると自分たちも、誰かの役に立つことが出来て嬉しい」と話すようになりました。

五月二十七日には、マゴソスクール創設者のリリアンさんと、教頭のオギラ先生がケニアから来日し、岡田西町公園仮設住宅にも訪問しました。今後も女性会の方々と、制作をつづけて行こうと、現在、検討を重ねています。

佐藤さんは「私たちの活動が止まったから支援しているケニアの子どもたちの生活も止まります。そして、ケニアの職業訓練学校で技術を教えるだけではなく、卒業後、技術を活かし、収入が定期的に継続していくよう、日本側がフェアトレード商品を販売することで、ケニアに定期的にオーダーをすることを続けていくことが大事です。とにかく継続しないと、今後について力強く語りまます。将来、カフェやフェアトレード商品が購入できて、身近にアフリカを感じられる『アフリカセンター』の開設の夢に向かい、日本とアフリカの架け橋として、活動を続けて行きます。」

※フェアトレードとは、途上国の生産者からは、生計を立てられる正当な価格で商品を購入することで、生産者の生活を支援していく取引のこと。

NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
●TEL /FAX: 022-247-4225
●URL: <http://amani-ya.com/>



被災地へ想い出を、被災地から記録を

● NPO法人20世紀アーカイブ仙台

NPO法人20世紀アーカイブ仙台(以下、アーカイブ仙台)は、二〇〇九年六月に設立し、映像と写真と音を素材に仙台市を中心としたアーカイブ事業(注)に取り組んできました。そして、アーカイブされた素材を活用した、八ミリフィルムの上映会や大正・昭和時代の写真展示会、それを見て昔の思い出を語り、回想効果により脳の活性化をはかる、高齢者施設での回想法レクリエーションなどを行ってきました。

東日本大震災以降は、活動の幅を避難所や仮設住宅へ積極的に広げ、東北に映画を届けよう!と、被災二県を対象にした『シネマエール東北』プロジェクトを(社)コミュニティシネマセンターと共催し、昨年の五月から今年三月までで県内で延べ四十回以上行いました。

映像から「ミニユニ ケーション」が生まれる

映画の上映に加え取り組んだのが、昨年十月から今年の二月まで、県内のべ二十四回、県内の仮設住宅集会所で開催した、八ミリフィルム(以下八ミリ)の上映会と想い出を語る「昔を語る会」です。アーカイブ仙台が上映する八ミリには、震災前の昭和時代の様子が映し出されます。理事長の坂本英

紀さんは「仮設住宅で新しく隣近所になった人たちが、どんな人なのかを知ることに役立つ」と話し、副理事長の佐藤正美さんは「辛い気持ちと一緒に、懐かしい思い出話でコミュニケーションをとることが大事」と話します。



▲昔を語る会

例えば、名取市で開催した会では、映像に写る『田植えのお昼休み』を、閑上では『たばこ』と言い、愛島では、『こびる』と言つように、その人が育った地域がわかりました。同じ昔の映像を見て、そして当時の生活を語ることで、参加者の想い出が共有され、どんどんコミュニケーションが生まれています。

震災の記録を伝えること

昔を語る会と並行して、震災写真を市民から募集してWEBサイトに掲載する活動も行いました。写真の公募は、震災後わずか十一日目でスタート。

その集まった一八、〇〇〇枚の写真の中から、一、五〇〇枚をセレクトした『3.11キラクのキラク』という本を今年三月に出版しました。さらにパネル展を北海道から沖縄、そして海外イタリア等百十カ所で開催。被災地の現実を伝えました。県外からは、一様に「報道によって震災の一面しか見ていなかった。震災の中で市民生活の、大変さが初めて分かった」との声が聞かれました。

この震災写真の記録は、「震災を経験していない人にとって、防災の心構えや指針になる」と坂本さん。「震災風化を防ぐことに繋がり、また今後震災を知らない世代に、語り継ぐ記録資料となる」とも佐藤さんは語ります。

震災写真は、現在も継続して募集しています。募集する震災写真は、被災地が復旧、復興した様子も含まれ、そこには、「震災は終わっていない」という思いが込められています。

市民と創る復興の記録

アーカイブ仙台では震災前から一般市民の目線だからこそ共有し、重ね合わせる事ができる」と、貫してプロではない、市民の目線を大切に活動していますが、それは震災後の活動にも活かされています。

今年五月二十六日には、被災地の決まった場所を継続的に撮影し記録する「3.11定点観測写真アーカイブプロジェクト」公開サロンが、せん



▲副理事長の佐藤さん(左)と理事長の坂本さん(右)

だいメディアアテックで始まりまし。月に一度、撮影者が自分の写真を解説し、サロンに参加した市民が、その写真がどのように目に映るのか、今後どのような定点観測をしていくのかを共に考えています。被災地が変わった様子、変わっていない様子もまた、今後、復興の記録資料となっていく予定です。

思い出を届ける アンテナショップ

また現在、十月三十一日までの期間限定で、アンテナショップ『センダイ座』を仙台市青葉区に開いています。そこは、畳の床にすだれ、ちゃぶ台が並び、震災前、大正・昭和時代の宮城県を映像で見ることが出来ます。坂本さん、佐藤さんは声をそろえて「一回撮って終わりではない、それがアーカイブの役割。そして、いろいろな思い出がまた次に繋がる」と言います。また、「自分たちにできる支援は、娯楽や思い出を届けること、それが求められるのであれば、続けたい」とも言います。

アーカイブ仙台は、このセンダイ座でもその思いを込めて、想い出を届けていきます。

(注)アーカイブとは、有形・無形の文化資源等を、電子化して保存等を行うこと。

NPO法人20世紀アーカイブ仙台

- 〒983-0021 仙台市宮城野区田子1丁目11-2
- TEL/022-387-0656
- FAX/022-387-0651
- URL <http://www.20thcas.or.jp/>
- ◆「3.11」市民が撮った震災記録web <http://www.sendai-city.org/311.htm/>

農業を通して

浦戸諸島の魅力を発信

●NPO法人浦戸アイランド倶楽部



日本三景松島湾内の浦戸諸島は、東日本大震災の津波で大きな被害を受け、塩竈市を拠点に、寒風沢島の耕作放棄地の再生や農業を通じたまち作りなどに取り組んできた、NPO法人浦戸アイランド倶楽部(以下:浦戸アイランド倶楽部)もそれに伴い、被害を受けました。

島の振興を目指し 継続して活動

浦戸アイランド倶楽部は、二〇〇六年に『浦戸諸島の魅力を活かした塩竈のブランド作り』を目的に、市内の六〇七人のメンバーが集まり、活動を始めました。会が注目したのは、寒風沢島の米です。農地の少ない塩竈市で唯一米を作っているながら、過疎化や高齢化で、島の八割が休耕田。「米は、雨水だけを使う江戸時代の農法、乾燥も天日乾し。離島でさまざまな汚染とは无缘で、商品価値が高いものです。さらに豊かな自然があり、仙台圏から時間をかけずに、のんびり過ごすことができるなど魅力が多く、



▲理事長の大津晃一さん

そうした点を上手に引き出しながら、島を活性化させようと考えました」と理事長の大津晃一さん。

まず二〇〇八年には、島の農家の協力を得て田んぼを借り受け、一般の人に農業体験してもらい、出来た米を使用して地元酒蔵の協力を得て地酒「純米吟醸 浦霞 寒風沢」を作る企画を実施。大変好評だったことから、その後も地酒づくりの企画を継続してきました。

そうした活動を続けていたところ、二〇一〇年に塩竈市から、浦戸の産業振興や地域の雇用促進などを目的とした、委託事業の担い手として打診があったことから、島の農家の方なども加わり、NPO法人化することに。二〇一一年一月には申請を行い五月に認証を受けました。同年二月には塩竈市内などからスタッフを七名採用し、島内の休耕田を借り受けて、田を再生する作業を行っていた中、三月に東日本大震災が発生。幸いスタッフは無事でしたが、田んぼは津波で壊滅的な被害を受けました。

多くの協力を得て 蘇った田んぼ

震災後定期船が運休したため、浦戸アイランド倶楽部では一か月ほどし

て、初めて寒風沢島に渡りました。借り受けた田はとにかくひどい状況で、理事長の経営する会社が流されるなどしたこともあり、活動をしばらく休止せざるを得ませんでした。

ただ、炊き出しや、塩竈に支援に来たさだまさしさんのコンサートに招待するなど、島民への支援を行っていたこともあり、これまで以上に島民との距離が縮まりました。

「浦戸諸島の振興はこれまでも、何度となく行われては、とん挫してきた歴史があります。島民の皆さんの期待もあり、ここでやめる訳にはいかなという思いがありました」と大津さん。塩竈市から事業を継続する確約を得たことから、活動の再開に向け動き出しました。

スタッフ十名を採用し、秋以降ボランティアなどの手も借り、前浜海水浴場前にある瓦礫だらけの土地三町歩を、手作業で整備。震災後に繋がりのできた、大崎市のNPO法人田んぼなどの協力も得て、江戸時代からつづく田んぼの再生を行いながら、田植えのための準備を続けました。雨や雪などの自然水だけを使った田んぼです。自然の力で塩分濃度も下が、今年五月にボランティアなどの協力を得て、手植えで無事田植えを行うことができました。四月



▲5月に行われた田植え

以降はスタッフ二名となり、秋の収穫に向け、現在は無農薬無施肥で育てている稲の、日々の手入れを行っています。

島の未来に向けて一歩ずつ

震災後、寒風沢島の津波被害を受けた田んぼは、国土保全の観点から、宮城県が復旧することになり、現在十二町歩の整備を進めています。三年後に完成の予定で、その受け皿として浦戸アイランド倶楽部に、期待が寄せられていることから、現在、塩竈市、市の農業委員会、と三者で協議を続けています。さらに、実験田を作ってデータを集めて三年後に活かす予定です。また、NPO法人として農業に参入する手続も進めています。

将来的には、再生した島の休耕田を借り受けて、全国の「田舎暮らし」に興味がある人たちに提供する倶楽部を作ったり、子供たちの食育事業を行うなど、これまでになかった新しい事業を通して、浦戸をブランド化し、持続可能な仕組みを構築したいと考えています。

「島の人たちは先祖代々の田が蘇っていくことを、喜んでいますが、多くの期待に応えるためにも、未来に向けて一歩ずつ進めていきます」と大津さんは力強く語りました。

NPO法人浦戸アイランド倶楽部

〒985-0002
塩竈市海岸通15-20セレーノ本塩釜駅前
●TEL:022-781-6522 ●FAX:022-781-6523
●http://www.urato.org/

ドキドキの夏が始まる!!
NPOで高校生の夏ボラ体験
2012
スタート!!

地域に根差したNPOの活動に関わり、体験先での様々な世代のスタッフや利用者さん、参加者同士が知り合い、新しい気づきや出会いが生まれる夏にしてもらいたいと、二〇〇三年から開催している「NPOで高校生の夏ボラ体験」(以下、夏ボラ)。今年は記念すべき十回目となり、県内の北は築館高校から南は角田高校までの二十一校から二百二十七名の応募があり、体験日時や人数のマッチングをした結果、百十九人の高校生が参加決定。仙台市内はもとより、大崎、栗原、登米、石巻、大河原など、県内二十四団体のNPOでボランティア体験を行います。

NPOってボランティアって?

夏ボラでは、参加する高校生には体験前に必ず「事前学習会」に参加してもらっています。その理由は、NPOやボランティアをしっかりと理解し、また、お互いの顔が見える関係をつくり、高校生の疑問や不安も解消、そのうえで体験することにより、実りあるものにしてもらうためです。今年度は七月十五日に大崎市、十六、二十一日は仙台市で、開催しました。

事前学習会では、まず(特活)社の伝言板ゆるるの大久保朝江代表理事から、夏ボラ開催の目的でもある、NPOやボ

ランティアについて理解するための講義です。

ボランティアとして活動に参加するには、団体との信頼関係は不可欠です。決めた時間や知り得た個人情報、保護など、約束を守ることは何より大切であることを説明。「NPOでボランティアをして、人を、NPOを、社会を知る夏にしてくださいね」と、高校生たちにエールを送りました。



▲NPOについて熱心に学んだ

参加者の高校生からは「必ずしもボランティアに奉仕ではないということを知らなかったため、特に印象に残りました」、「NPOという言葉は聞いたことがありましたが、どのような団体があり、活動しているのか、知ることができました」という声が多く聞かれました。

企業とともに

夏ボラは、河北新報社を中心としたグループ十一社で作る社会貢献団体「かほく108」クラブ」と共催であるほ

か、東北労働金庫、河北新報社の協賛で開催しています。毎年、協賛企業から、高校生に役立つ講座を実施しています。まず東北労働金庫からは、「マネートラブルにかつ!」の冊子を紹介。わかっているようでわからない消費者金融の金利や、悪質商法の手法など、若者が狙われている現状を話しました。

そして今年も、高校生に新聞をもっと活用してもらうため、河北新報社教育プロジェクトの「新聞の読み方講座」を開催。講師は、事務局の砂金慎さん、谷藤仁史さんが行いました。講座では、新聞記事の中から、5W1Hをさがすワークや、新聞の読み方をアドバイスしました。

「新聞を読むと、文章の書き方も学べるので小論文作成に役立ちますよ。肩肘張らず、コツコツ積み重ねが大事です。まずは、見出しから興味を持ったものを読んで」と砂金さん。講座を終えた高校生からは、「とてもタメになりました。これからの自分のために新聞を読む癖をつけたいです。」といった感想が聞かれました。

不安と緊張から、笑顔に

後半は、いよいよ高校生たちが実際に体験する、受入NPO団体との顔合わせです。大崎会場は、四団体、仙台会場は、二日間合わせて二十団体が勢ぞろいし、それぞれのNPOから団体の活動について紹介。高齢者のデイサービスをしている団体や障がい児の放課後ケアをしている団体、外国から来訪した方々をサポートしている団体、と多様な活動に、高校生は興味を示していました。

その後、遂に受入団体との打合せ。顔合わせ前は、緊張した顔つきだった高校生も、体験日程が同じ他校の高校生、受入NPOの担当者と話をするこ

徐々に笑顔になり、和やかな雰囲気や打ち合わせが進みま



▲体験先ごとに分かれて打ち合わせ

「ボランティアをしてみたい」と思っていた自分が、自分でどうやって団体を探そうか、どんな団体が受け入れてくれるのか、わかりませんでした。先生からの案内で、夏ボラを知り、申込みました。楽しみます」、「高校三年生になって、初めて夏ボラを知りました。自分の進路が福祉関係なので、今後の自分のために、体験を通して学んできたのです」など、高校生は、事前学習会を終え、夏ボラへの意気込みを話してくれました。

事前学習会を二十二日すべて終え、七月二十四日に実施する「暮らしのア」での夏ボラ体験を皮切りに、続々と高校生たちの体験が始まります。夏ボラの様子は、河北新報社が運営する地域SNSサイト「ふらっと」の「夏ボラ」口グ」に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

[NPOで高校生の夏ボラ体験2012]

- 主催: (特活)社の伝言板ゆるる
- 共催: かほく「108」クラブ
- 協賛: 河北新報社グループ11社、東北労働金庫
- 問合せ: (特活)社の伝言板ゆるる
連絡先は、裏表紙をご覧ください。
- URL: <http://flat.kahoku.co.jp/u/yururu/>

事業計画でお困りの団体に 経営コンサルタントがアドバイス!

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。



経営相談を担当しているのは、県内外のさまざまな創業・経営支援に関わり、全国で数多くの成功事例を生み出している経営コンサルタント・中小企業診断士の波多野卓司さんです。波多野さんは曰く「NPOとの関わりがあり、NPO法人の理事も務めています。昨年は、被災NPOのための相談会も担当し、被災されたNPO・市民活動団体へのア

NPOのための 経営相談とは

みやぎNPOプラザでは、宮城県内のNPO・市民活動団体の活動を支援する専門相談を開催しています。中でも経営相談は、平成二十二年六月より「事業経営で困っている」「事業計画を見直したい、何かから手をつけていかかわからない」...そんな事業経営に悩むNPOの皆さまに向けて行っています。申込は事前予約制で、開催日六日前までにFAX・メール等で申し込んでいただき、定員は三団体です。みやぎNPOプラザの相談コーナーで一団体約二時間、じっくり話を聞きアドバイスします。

アドバイスもしていただきました。

波多野さんは 経営相談について...



波多野さんは、経営相談にかけようと思っても、次のように語っています。「NPOのみならずからの相談をお受けするようになり、多くの方が儲けようとは思っていませんが運営スタッフはボランティアでこのまま続けられるかどうか...」と云われます。もちろん、NPOは利潤の追求ではなく社会貢献を第一義とするわけですが、しかし、『儲ける』こと、そのサービスを低限的に提供していくための最低限の(人件費を含む)運営費を対価として得ることは、別のことだと私は思います。いのちを交換するのに必要なささやかな対価までも遠慮されようとする方々の心根の美しさに、私はいつも敬意の念を禁じ得ませんが、だからこそ、その活動を継続していくための慎ましい対価を得られるお手伝いができればいいなと、そう思っています。」

NPOのための 専門相談

経営相談だけでなく、NPOの皆さまにお役立ていただけるよう、「雇用なんでも相談」、「会計・税務相談」、「NPO法人設立・団体運営相談」も行っております。ぜひご利用ください。

- 会場：みやぎNPOプラザ
- 相談時間：1団体約1時間
- 定員：各相談とも3団体

- 料金：無料
- 開催時間：13:00~17:00
- 申込方法：開催日6日前までに、FAX・メール等で申し込んでください。

宮城県のNPO法人数
※2012年7月10日現在

300 団体

仙台市のNPO法人数
※2012年7月10日現在

371 団体

●NPO法人の設立を新しく申請した団体●

宮城県所轄分6月11日~7月10日 / 仙台市所轄分6月11日~7月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県 日本ナチュラル療法学院	登米町	整体師及び生活習慣病の予防について指導できる人材の育成事業等	7/10
宮城県 りふスポーツクラブ	宮城郡利府町	利府町民に対する、健康増進、地域コミュニティの促進、豊かな高齢社会の創造、青少年の育成に関する事業	7/10
仙台市 みんなえがお	若林区	障害福祉サービス事業所の経営	6/13
仙台市 時薬堂	泉区	高齢者生活・健康支援事業、高齢者生活文化・芸術文化支援事業、高齢者交流活動支援事業	6/18
仙台市 匠の右腕	泉区	大工職人を育成するための研修技術訓練の企画運営事業、伝統的な木造建築に関するイベント・セミナーの開催事業等	6/19
子ども村東北	青葉区	子どもの村の建設・運営事業、社会的養護の子どもと家庭への支援及びシステムの研究開発事業等	7/10

●NPO法人に認証された団体●

宮城県所轄分6月11日~7月10日 / 仙台市所轄分6月11日~7月10日

団体名	所在地	活動内容	認証日
山元・あしたの響き	巨理郡山元町	山元町を中心とした地域社会において、地域の活性化と振興発展に寄与する活動	6/11
浜田ヨット&ボートクラブ	宮城郡利府町	ヨット、ボート愛好者の活動を推進し、ヨット、ボート活動の安全確保に関する事業等を行い、地域住民の文化興隆を図る活動	6/11
宮城県 がんばっつと!!玉浦	岩沼市	岩沼市東部地区玉浦及び周辺地域に対して、農業体験事業等を通じて地域の振興を図る活動	6/12
BOND&JUSTICE	岩沼市	東日本大震災の被災者に対する災害復興活動や地域の活性化を図る事業等	6/13
中国足心道療術師協会	大崎市	中国足心道の専門技術を、健康に関心のある人に普及、啓蒙させる活動等	6/13
Tree Seed	気仙沼市	地域コミュニティの形成、創出等の支援を行い、被災地域の復興と社会福祉へ貢献する。	7/2
ゆいまーる	登米市	高齢者や父子家庭、母子家庭に対する生活支援	7/5
みちのく6次産業プラットフォーム	宮城野区	東北地域における農商工連携等6次産業化によるビジネスの実施事業、東北地域における農商工連携等6次産業化の支援事業等	6/11
日本ヘルスケア絆研究所	宮城野区	介護保険法に基づく居宅サービス事業	6/14
フーズリンクみやぎ	宮城野区	情報提供事業、開発支援事業、商流促進事業等	6/18
みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会	青葉区	より効率的で安全な周産期医療を病院・診療所間で行うセミナー・システム事業、周産期医療の質、安全向上のための診療情報の共有化を推進するWeb電子カルテ事業	6/27
東北復興技術機構	宮城野区	企業誘致コンサルタント事業、産官学共同プロジェクトのコンサルティング事業等	7/5

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-hpo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡5

(指定管理者):(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npomiyagi@miyagi-npo.gr.jp

2012年度 エイブル・アート・アワード 展覧会支援の部

- 対象 象: 障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている作家(個人、グループは不問)
- 助成内容: 展覧会開催に関する以下の資金を助成
 ギャラリーの借り上げ費用
 展覧会の企画全般を行うコーディネーターの派遣費用
 案内ハガキの作成費用、エイブル・アート・ジャパン関係者・マスコミへのPR
 展覧会開催に関する人的支援(展示・撤去作業、会期中のスタッフの配置)
 ※額装費用、作品の搬送費用、作家や関係者の交通費は作家側の負担となります
 ・下記2ヶ所のギャラリーで開催
 1) ガレリア・グラフィカbis(東京都中央区)(6日間)
 2) A/A gallery(東京都千代田区)(2週間程度) 予定
- 募集締切: 8月31日(金) 必着
- 連絡先: (特活)エイブル・アート・ジャパン
 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14
 アーツ千代田3331 #208
 TEL: 03-5812-4622 FAX: 03-5812-4630
 E-mail: info@ableart.org

平成24年度 JICS NGO支援事業

- 助成対象: (1) 開発途上国におけるプロジェクト活動にかかる費用、またはプロジェクトを実施するために必要な基盤整備にかかる費用
 (2) 日本国内における、組織運営の安定及び強化に必要な活動、開発途上国問題・難民問題・平和構築問題に対する啓発活動、ネットワーク型NGOの活動にかかる費用
- 対象団体: (1) 主たる事業として開発途上国での開発協力援助活動を行っている、または日本国内においてNGOの活動促進・発展のための事業、開発途上国問題や難民問題等に対する啓発活動を行っていること
 (2) 団体発足後3年以上の活動実績を有し、主たる事務所を日本に置いていること(法人格の有無は不問)
 (3) 過去3年間の年間事業規模が1億円未満であること(原則として年間事業規模が3,000万円未満の団体を優先)
- 助成期間: 2013年2月以降～2014年3月末までに開始・終了する事業
- 助成金額: 1団体あたり原則上限100万円(10団体程度の支援を予定)
- 募集締切: 8月31日(金) 消印有効
- 連絡先: 一般財団法人 日本国際協力システム
 総務部総務課NGO支援係
 〒162-0067 東京都新宿区富久町10番5号
 新宿EASTビル2階
 TEL: 03-5369-7480 FAX: 03-5369-6961

平成25年度 NFD one leaf fund

- 助成対象: (1) 植物保護活動
 日本古来の植物種、地域固有種、絶滅危惧種等の保護・増殖等に関する公益的な活動
 (2) 自然保護・環境保全・環境福祉の調査・研究
 日本の希少植物種の保護や自然景観・環境保全・環境

- 対象団体: 上記対象事業を行う団体・個人
 日本フラワーデザイナー協会の会員・非会員は不問
- 助成金額: 1件あたり上限80万円(総額300万円)
- 助成期間: 平成25年4月～平成26年3月に実施を予定しているもの
- 募集締切: 8月31日(金) 消印有効
- 連絡先: 公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会
 〒108-8585 東京都港区高輪4-5-6
 TEL: 03-5420-8741
 ※詳細はHPの要項をご確認ください(<http://www.nfd.or.jp/>)

平成24年度(平成25年度事業)共同募金配分

※今年度の募金も「東日本大震災」の影響により、募金環境は引き続き厳しいものと予測されます。県域配分については、特に被害の大きかった沿岸部の復興支援に資するため、沿岸部市町村の配分を優先的に決定します

- 助成対象: 配分内容により異なります
 ※詳細はHPの募集要項をご確認ください
- 配分内容: 1) 社会福祉施設に対する配分
 2) 社会福祉団体に対する配分
 3) 子育て支援事業
 4) 安心・安全な生活支援事業
 5) 赤い羽根チャイルド大使育成事業
 6) 難病救済活動支援事業
 7) 児童養護施設自立支援事業
 8) 災害支援活動
- 助成金額: 配分内容により異なります
- 応募方法: 所定の用紙に必要事項を記入し、各市町村共同募金委員会経由で提出
- 募集締切: 8月31日(金) 必着
- 連絡先: 社会福祉法人 宮城県共同募金会
 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28
 TEL: 022-292-5001 FAX: 022-292-5002

2012年度 東日本大震災対応「特定課題」(冬助成)

- 助成対象: 活動助成
 被災地の住民が中心となった、生活再建や地域社会の再生・復興を目指すプロジェクト
 ・地域間連携助成
 被災地で様々な課題解決に取り組む住民・団体と、被災地と同様の課題を抱える地域または課題の解決につながるノウハウを持つ地域の住民が連携し、共に地域の課題解決に取り組むプロジェクト
- 対象地域: 東日本大震災の被災地域ならびに、被災地に居住地のある人が避難している地域
- 対象期間: 2013年1月から2013年12月末日
- 助成金額: 活動助成: 1件あたり上限300万円(8,000万円(夏助成・冬助成合計))
 地域間連携助成: 1件あたり上限1,000万円(総額3,000万円)
- 募集締切: ウェブサイト: 9月12日(水) 17:00締切
 郵送: 9月12日(水) 消印有効
- 連絡先: 公益財団法人 トヨタ財団
 〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビル37階 私書箱236号
 TEL: 03-3344-1701 FAX: 03-3342-6911

- 講 師: 大山佳世氏(うつへの対処法・ストレスケア・働く女性の心理等のレッスン・心理ワークショップ講師)
- 内 容: ★傾聴の基本 ★演習・ロールプレイ
★グリーフケア(悲嘆のケア) ★回想法を取り入れる
★サロン開催(課外活動) など
- 対 象: 仙台市内にお住まいの方、または職場のある方
- 定 員: 15名(定員になり次第締切)
- 参 加 費: 1,000円
※2011年度の支援者講座1を受講された方については、第4回目(10/14)からの受講も可能です。(参加費700円を戻します)
- 託 児: ご希望される方はご相談ください
- 申込方法: 名前、住所、連絡先(日中に連絡のつく電話番号)、申込動機を明記の上、FAX、メール、郵送にて申込
- 申込締切: 8月20日(月)
- 主 催: みやぎジョネット
- 連 絡 先: 〒981-0911 仙台市青葉区台原5-13-23
レジデンス台原1階
FAX: 022-233-2434
E-mail: miyagi.jonet@gmail.com
URL: http://miyagi-jonet.blogspot.com/

9/2 日 「傾聴」講座 Vol.9

社会貢献活動に取り組みながら、ボランティアの意味や大切さを考えます。参加者同士が成長できる講座に出来ればと思っています。

- 日 時: 9月3日(月) 19:00~20:30
- 場 所: アエル6F セミナールーム(青葉区中央)
- 内 容: ★傾聴に関する基礎講座
★ロールプレイング
- 定 員: 20名(先着順)
- 参 加 費: 500円
- 申込方法: 氏名、電話/FAX番号、住所、メールアドレスを明記の上、FAXにて申込
または18:30以降電話またはメールにて申込
- 申込締切: 8月25日(土)
- 主 催: 全国PHP友の会東北地区本部「PHPコミュニケーション学ぶ会事務局」
- 連 絡 先: 〒981-1107 仙台市太白区東中田2-7-32-704
TEL: 090-2998-0017(18:30~)
FAX: 022-738-8421
E-mail: kodamay0@mail2.dnet.gr.jp

9/11 火 インターネットで使う会計システム N-Books 講座

N-Booksはインターネットを利用した会計システムです。出納帳をつける感覚で入力し、Excelに簡単出力。講座ではシステムの紹介から登録、記帳、決算書の出し方まで体験します。

- 日 時: 9月11日(火) 13:00~18:00
- 講 師: 瀧谷和隆氏
(NPO法人会計税務専門家ネットワーク理事・税理士)
- 対 象: NPOの会計業務に携わる方で、パソコンの基本操作のできる方
- 定 員: 先着10名
- 参 加 費: 資料代あり ※詳細はお問合わせ下さい
- 申込方法: 氏名、団体名、連絡先を明記の上、メール、電話、FAX等で下記連絡先まで申込
- 主 催: (特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先: 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6
コーポラス島田B6
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
E-mail: npo@yururu.com
http://www.yururu.com/

9/15 土 ~ 9/17 月 Shortpiece! 仙台短篇映画祭2012

昨年、東日本大震災によって存続さえも危ぶまれましたが、多くの方々に支えられて開催できました。その感謝を胸に、今年のテーマは「継続」です。昨年生まれた映画たちが、新たな物語を紡ぎます。 ※詳細はHPをご確認ください

- 開催期間: 9月15日(土)~9月17日(月・祝)
- 場 所: せんだいメディアテーク
7階スタジオシアター/1階オープンスクエア
- 内 容: プログラム詳細はHPをご覧ください
- 定 員: 各プログラム180席(全席自由・入替制)
- 参 加 費: 【前売券】全日フリーパス3500円、
3回回数券2,000円
【当日券】1プログラム券1,000円
(プログラムにより500円)
小学生以下800円(豊齢手帳・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで800円)
交流会: 500円
- 託 児: プログラムにより有り(要申込)
申込先: メディアテーク託児係(9/7締切)
FAX: 022-713-4485
E-mail: office@smt.city.sendai.jp
- プレイガイド: KANEIRI Museum Shop 6
(せんだいメディアテーク1F)
e+(イープラス) ※8月20日発売
- 主 催: 仙台短篇映画祭実行委員会
- 共 催: せんだいメディアテーク
- 連 絡 先: 仙台短篇映画祭実行委員会
〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
TEL: 080-3146-6085
080-3194-1202(庄司、留守電折返)
E-mail: info@shortpiece.com
URL: www.shortpiece.com/

情報をお待ちしています

- 申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切: 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 対象：NPO、市民活動、ボランティア活動に興味のある方
- 定員：20名
- 資料代：800円
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

8/30 8/31 子育て支援パソコン講座 フォトアルバム作成・クラウド

お子様が幼稚園・学校に行っているわずかな時間に、家族のフォトアルバムと今話題のクラウドを学んでみませんか。

- 日時：8月30日(木)～31日(金) 10:00～12:00
- 場所：せんだいメディアテーク7階 会議室a
- 内容：★アルバム作成
★インターネットに保存、ダウンロードして印刷するための学習
- 対象：子育て中の女性の方
- 定員：10名
- 参加費：2,000円(テキスト代等を含む)
- 持ち物：デジタルカメラ・USBケーブル又は写真の入ったUSBメモリ
- 託児：今回はありません
- 申込方法：住所・氏名・年齢・電話番号・明記の上、往復はがきで申込
- 申込締切：8月15日(水)
- 主催：エルネット仙台
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.6
TEL:022-234-2208
E-mail:lnet010@yahoo.co.jp
URL:www.zundanet.co.jp/lnet/

8/31 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時：8月31日(金) 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

9/1 NPO寺子屋塾 第3回 “妻も考えよう”遺言・相続への助走(2)

成年後見制度の理念を紐どきながら、親と子が相互理解のもとに自立し、“争続の予防”も考えます。

- 日時：9月1日(土) 14:00～15:30
- 場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内容：★“妻も考えよう”遺言・相続への助走
★事例研究&成年後見制度の理念を紐とく
- 定員：30名(定員になり次第締切)
- 参加費：500円
- 申込方法：氏名、年齢、電話番号、住所等を明記の上、メール、手紙等で下記連絡先まで申込
※手紙などで申込みの場合の送付先
〒982-0003 仙台市太白区郡山6-1-1-601
佐藤 洋一 宛
- 主催：(特活)経営体質改善サポート宮城
- 連絡先：(担当：佐藤)
E-mail:satosun@mopera.net

9/1 まちづくりNPOげんき宮城研究所 創立5周年 みちのく八雲会 創立10周年 フォーラム2012 in 石巻

- 日時：9月1日(土) 13:00～(開場12:45～)
- 場所：(株)ナリサワ2F会議室
(石巻市駅前北通2-12-27)
- 内容：★基調講演(60分)
「GNPからGNE(人生の楽しみ)の時代へ
～文化資源としての小泉八雲を考える～」
講師：小泉凡氏
(島根県立大学短期大学部教授、小泉八雲ひ孫)
★文部科学省推薦 映画上映会(97分)
長編ドキュメンタリー「PRAY FOR JAPAN～心をつなぐ～」
- 定員：80名
- 参加費：無料(資料が必要な場合、実費500円)
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主催：まちづくりNPOげんき宮城研究所
- 共催：みちのく八雲会
- 連絡先：まちづくりNPOげんき宮城研究所
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザレターケースNo.7
TEL:090-7526-7826 FAX:022-256-0533

9/2 自閉症を正しく理解するということ ～自閉症の支援で最も大切なこと～

自閉症の人たちへの支援モデル「TEACCHプログラム」を解説します。自閉症を正しく理解し、適切な支援をするための「世界で最もわかりやすい講演会」です。

- 日時：9月2日(日) 10:30～16:30
- 場所：東北大学百周年記念会館
川内萩ホール(青葉区川内)
- 講師：ゲーリー・メジボフ氏
(米国ノースカロライナ大学TEACCH部元部長)
- 定員：500名
- 参加費：3,000円
- 申込方法：申込フォーム
(<https://biz.knt.co.jp/ecs3.5/acn2012/>)より申込
または、会場名(仙台会場)、氏名(フリガナ)、資料送付先郵便番号・住所、電話番号、FAX番号、職業を明記の上、下記連絡先までFAX、E-mail、はがきにて申込
- 主催：宮城県自閉症協会、朝日新聞厚生文化事業団
- 連絡先：近畿日本ツーリスト(株)
トラベルサービスセンター東日本「仙台講演会係」
〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-4-2
TEL:0570-064-205
(月～金曜日、10:00～17:00)
FAX:03-6730-3230
E-mail:Tourdesk09@or.knt.co.jp

9/2 東日本大震災支援者講座2 「傾聴」講座

被災者支援の担い手づくりのための連続講座です。地域の中での支え合いを担う人材の育成と、被災者に寄り添った支援活動への参画の機会づくりを行います。

- 日時：9月2日、9月9日、9月30日、10月14日、10月21日、11月11日、11月18日
全て日曜日、10:00～12:00(最終日のみ9:00～)
- 場所：仙台市青年文化センター
9/30は情報・産業プラザ ネットU(青葉区中央)
最終日の課外活動は気仙沼市内予定

8/25 第12回「政宗さんの川狩り」
～アユを捕って、見て、食べてみて～

アユを広瀬川八本松河原のじゃぶじゃぶ池に放流、手掴みで捕って塩焼きで食べる楽しいイベントです。アユは放射能汚染調査で問題のない中新田産養殖を使用します。安心してご参加ください。

- 日 時：8月25日(土) 10:00～12:00(9:30～受付)
小雨決行
- 場 所：広瀬川八本松河原 じゃぶじゃぶ池
- 定 員：200名(先着順)
- 参加費：子供400円・大人600円
(アユ塩焼き一匹、飲み物付)
- 申込方法：住所、氏名、年齢、電話番号(FAX番号)、参加人数を明記の上、往復はがき、FAX、E-mailにて申込
- 申込締切：8月21日(火)
- 主 催：(特活)広瀬川の清流を守る会
〒982-0011 仙台市太白区長町1-2-16-201
TEL:022-247-6522 FAX:022-290-3205
E-mail:ayu@hirosegawa.com
URL:http://www.hirosegawa.com

8/25 土
～食べて応援!水産業の復興～
美味しさ満載!夏の海
『大人のお魚教室』

季節の旬の魚のさばき方を学び、家族や、お友達にも自慢できる、男の料理を作ろう!

- 日 時：8月25日(土) 10:30～14:00
- 場 所：みやぎ生協幸町店 調理室
- 内 容：いか飯、いわしのロール揚げ、いわしのつみれ汁、浅漬
- 対 象：お魚料理がうまくなりたいたいお父さん
- 定 員：25名
- 参加費：1,500円
- 申込方法：(1)住所、(2)電話番号、(3)氏名(ふりがな)、(4)年齢、(5)参加申込イベント名を明記の上、下記連絡先まではがき、FAX、メールにて申込
- 申込締切：8月16日(木)
- 主 催：食育NPO「おむすび」
- 連絡先：代表：清水智子
E-mail:tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
事務局：木村和子
〒984-0822 仙台市若林区かすみ町1-47
TEL/FAX:022-285-0824

8/26 日
ドキュメンタリー映画試写会
「犬と猫と人間と2 動物たちの大震災」

大震災は動物たちにも大きな被害を与えました。津波で被害を受けた石巻市と、原発事故で今なお困難がつづく福島県を主な舞台に、動物と人の約500日を見つめました。

- 日 時：8月26日(日)13:30開場 14:00開幕
- 場 所：多賀城市文化センター 小ホール
- 料 金：500円
- 主 催：NPO法人アニマルクラブ石巻、
「犬と猫と人間と2」試写会実行委員会
- 連絡先：TEL:090-1932-9965(穴戸)
E-mail:d_shishido@yahoo.co.jp

8/26 日
～被災地における離婚と子ども～
面会交流支援の研修に関する検討会

今年4月1日より、離婚後の親子の面会交流に関する改正後民法が施行されました。被災地における面会交流支援に携わる支援員の研修について、検討を行ないます。

- 日 時：8月26日(日) 14:30～16:30(開場14:15)
- 場 所：仙台市戦災復興記念館 第5会議室
- 内 容：★講演「被災地宮城における面会交流支援員研修のモデル案」
講師：石垣秀之氏(臨床心理士、行政書士)
★面会交流支援に関する研修について：
フリーディスカッション等
- 定 員：15名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までご連絡下さい
- 主 催：我が子に会いたい親の会
- 連絡先：TEL:090-7334-7361 FAX:0463-67-6297
E-mail:yandk55@gmail.com
URL:http://wagakonokai.jimdo.com/

8/29 水 ~ **9/19 水**
ガールズのパソコン+しごと
ゆる～り準備講座

基礎が学べる「パソコンの講座」と、こころのケアをする「しごと準備講座」がセットになった講座です。生きづらさを感じているガールズの参加をお待ちしております。

- 日 時：8月29日(水)～9月19日(水) (全12日間)
全日程10:30～12:00 午後13:00～15:00
- 場 所：エル・ソーラ仙台
研修室/サポートルーム(アエルビル28・29階)
- 対 象：15歳～40歳未満で無職のシングル女性
※パートナーやお子さんのいる方は対象外
- 定 員：20名(応募多数の場合抽選)
- 参加費：一般3,000円
賛助会員2,700円(テキスト代、材料費込み)
※減額制度あり。詳しくはお問い合わせください
- 申込方法：所定の申込用紙を記入の上、下記住所「ガールズ講座担当」まで郵送にて申込
- 申込締切：8月22日(水) 必着
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 協 力：(特活)全国女性会館協議会
- 連絡先：エル・ソーラ仙台 管理事業係
〒980-6128 仙台市青葉区中央1-3-1
アエルビル28階
TEL:022-268-8044(平日9:00～17:00)
URL:http://www.sendai-l.jp

★お申し込みを悩んでいる方のために、説明会を開催します

- 日 時：8月20日(月) 14:00～15:00
- 場 所：アエルビル29階 エル・ソーラ仙台 サポートルーム
- 申込方法：不要。直接会場へお越しください

8/30 木
NPOマネジメント講座
NPO夜学～あなたにもできる市民活動～

「NPOとは」の解説から団体の立ち上げ方まで、市民活動をわかりやすくお伝えする講座です。後半は実際に市民活動に関わっているゲストからの生の声をお届けします。

- 日 時：8月30日(木) 19:00～21:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長、(特活)杜の伝言板ゆるる代表理事)
- ゲ ス ト：福井大輔氏((特活)アマニ・ヤ・アフリカ事務局長)

- 場 所: 学習支援センター「19 tsutsujigaoka」
(下記連絡先住所参照)
泉区(イトーヨーカドー仙台泉店)にも開設しています
- 対 象: 小学4年生～中学3年生
- 教 科: 英語、数学(算数)中心。国語、理科、社会も可
- 費 用: 各家庭の経済状況に応じた低料金の会費制
- 主 催: (特活)アスイク
- 連 絡 先: 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
TEL: 022-781-5576
E-mail: info@asuiku.org
http://asuiku.sendai-net.com/

- 定 員: 25名(申込先着順)
- 参 加 費: 一般600円、会員500円、子ども(小学生)400円
- 持 ち 物: エプロン、三角巾、手ふき用タオル、筆記用具、
あれば自宅で育てたゴーヤ
- 申込方法: 氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、
住所を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切: 8月16日(木)
- 主 催: 公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連 絡 先: 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5階
TEL: 022-276-5118 FAX: 022-219-5713
E-mail: melon@miyagi.jp.org
URL: http://www.melon.or.jp/melom/

イベント

毎週水曜 <プラザ事業>プラザ主催 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時: 毎週水曜日 13:00～17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体 ※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

8/12 日 仙台ピアカウンセリングの集い ～第11回 仲間と共に語る場を持ちませんか～

震災で傷んだ心の修復はできましたか? 一歩を踏み出せない方、踏み出しても立ち止まっている方、仲間と分かち合い、勇気をもって一歩一歩共に歩んでいきましょう!

- 日 時: 8月12日(日) 14:00～16:00
- 場 所: 仙台市福祉プラザ10階 第4研修室(青葉区五橋)
- 内 容: ひたすら体験を語り又聴くことを通して、精神疾患や心の悩みからの回復を目指します
- 対 象: 精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み、回復が進まず悩んでいる方及び家族に限定(タイプB型例会クローズ方式)
- 定 員: 20名(予約制)
- 参 加 費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先まで電話またはメールにて申込
- 主 催: 仙台心のケア研究会
- 後 援: 仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)
- 連 絡 先: (担当: 吉村)
TEL: 080-3328-7186
E-mail: qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

8/19 日 ～4Rクッキング体験講座～ ゴーヤ料理を作ってみよう!

夏の省エネのゴーヤカーテン。でも、いざ大きく育つと食べきるのが大変…そんなゴーヤを使って、おいしい料理をみんなで作って楽しみませんか?

- 日 時: 8月19日(日) 10:00～14:00
- 場 所: 青葉区中央市民センター
調理実習室(青葉区一番町)
- メ ニ ュー: ★ゴーヤのハンバーグ
★夏野菜のイタリアンスープ★デザート 他
- 対 象: 小学生以上
(小学生は保護者と一緒にご参加ください)

8/22 水 8/23 木 NPOを磨く15の力(宮城版) 第6回 コミュニケーション編

自らの団体を対外的に説明し支援者を拡大することは、NPOにおいて重要です。講座では、ミッションを的確に把握し、ビジョンを明確にし、端的に理解する技術と発信の手法を学びます。

- 日 時: 「組織を伝えるコミュニケーション」
8月22日(水) 9:30～16:30 エル・パーク仙台
「組織を広げるコミュニケーション」
8月23日(木) 10:00～17:00 登米市米谷公民館
- 講 師: 岡本達也氏
(株式会社電通シニア・クリエイティブ・ディレクター)
- 参 加 費: 各回1,000円(資料代)
- 申込方法: 下記連絡先のURLより申込
- 主 催: (特活)日本NPOセンター
- 連 絡 先: 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル245
TEL: 03-3510-0855 FAX: 03-3510-0856
URL: http://www.jpnc.ne.jp/form/15.html

8/23 木 <プラザ事業>プラザ主催 NPOのための経営相談

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない…そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか?

- 日 時: 8月23日(木) 13:00～17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

8/25 土 9/15 土 10/20 土 平成24年度 カウンセリング講座

自分自身の安寧を取り戻し、私たち一人一人が社会とどう向き合い、お互いにく所に寄り添っていくことを学び、考えていく講座です。

- 日 時: ①8月25日(土) ②9月15日(土)
③10月20日(土) 13:30～15:30
- 内 容: ①ロゴセラピーについて ②共感の心理学
③臨床美術(クリニカルアート)
- 場 所: 仙台市福祉プラザ11F 第1研修室
- 参 加 費: 1,000円/1講座
※年会費3,000円納入の会員の方は年間講座無料
- 主 催: 仙台市カウンセリング研究会
- 連 絡 先: TEL/FAX: 022-272-3625

●連絡先: 〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18
 TEL: 090-3127-8925 FAX: 0228-58-4756
 E-mail: makibafree@mail.goo.ne.jp
 URL: http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free

TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651
 E-mail: npo@20thcas.or.jp
 URL: http://www.20thcas.or.jp/

せんだい・みやぎNPOセンター 職員募集

市民活動団体・NPOを支援する、市民が住みやすい街を創る社会を変える仕事で、あなたの情熱を仕事にできる職場です! ※詳細はHPをご確認ください。

- 職務内容: (1)受付、情報収集・提供、事業企画運営
(2)復興に関する事業、助成金プログラムの実施業務など
- 勤務場所: (1)仙台市市民活動サポートセンター(青葉区一番町)
(2)本体事務局(青葉区大町)
- 勤務: 常勤職員: 月22日程度
非常勤職員: 月15日程度(変動あり)
勤務時間等要問合せ
- 契約期間: 1年間 状況により契約更新あり
- 募集人数: (1)常勤・非常勤: 各1名 (2)常勤: 数名
- 応募資格: 市民活動やボランティア活動経験がある方、コミュニティビジネスなどに関心のある意欲的な方など
- 申込方法: 指定の履歴書(HPよりダウンロード可)、応募理由(800字程度)、小論文(1500字程度)を郵送または持参
- 募集締切: 決定まで随時受付
- 主催: (特活)せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先: (担当: 伊藤、遊佐)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
TEL: 022-264-1281 FAX: 022-264-1209
E-mail: minmin@minmin.org
URL: http://www.minmin.org/

地域サロンぷらっとほ〜む木町

ぷらっとほ〜む木町に遊びに来ませんか? 子どもから高齢の方まで地域の皆さんが気軽に集まり、交流できるサロンです。

- 事業: 交流サロン
貸しスペース(利用料金: 500円/1時間)
野菜販売(毎週火・金曜日 10:00~16:00)
- 主催: (特活)セージハウス
- 連絡先: 仙台市青葉区木町16-39
TEL: 0120-748-035
URL: http://www.sagehouse.jp/

「NPO法人会計基準ハンドブック」を発行しました

2012年4月よりNPO法人会計基準が適用になりました。新しい会計基準での会計処理の仕方や書類の作り方などをまとめた便利なハンドブックです!

※「みんなで使おう! NPO法人会計基準」のWEBサイトのダウンロード/リンク集のページから、PDFで自由にダウンロードできます。印刷された冊子は、みやぎNPOプラザでお買い求めいただけます

- 内容: ★第1章 NPO法人会計基準とその位置付け
★第2章 NPO法人会計基準
★財務諸表の例示 など
- 監修: NPO法人会計基準協議会専門委員会
- 発行: 認定NPO法人 NPO会計税務専門家ネットワーク
- 連絡先: 〒113-0031 東京都文京区根津1-19-14-201号
TEL: 03-3827-9127 FAX: 03-5814-5332
E-mail: inquiry@npoatpro.org
URL: http://www.npoatpro.org/

事業案内

映像ギャラリー・アンテナショップ センダイ座

懐かしい仙台の8ミリ映像や写真を観ながら、昔を語るスペースです。8ミリフィルムをお持ちの方は、ビューワーでその場で観ること、また有償でDVDに変換することもできます。

- 開設期間: 7月14日(土)~10月31日(水)
- 場所: ラベルヴィビル 地下1階(青葉区一番町)
- 主催: (特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先: 〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2

小中学生学習支援センター 放課後 学校の宿題を一緒にしませんか?

大学生・社会人が先生となり、学校の予習、復習、テスト勉強などを行っています。見学会も行っていますので、お気軽にご参加ください。

- 開設期間: 毎週火曜~金曜日 19:00~20:30
※16:00~19:00は自習スペースとして開放

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.7.16現在)敬称略

●正会員 48名

- ★石巻市 ●NPO法人いしのまきNPOセンター
- ★仙台市 ●猪狩慎一 ●北尚登 ●遠山青葉印刷(株)
●NPO法人せんだいの子ども劇場 ●藤原範典
●NPO法人20世紀アーカイブ仙台 ●藤田佐和子
●新川達郎 ●平野由紀子 ●向陽台一歩の会
●(福)宮城県社会福祉協議会 ●(福)東北福祉会
●NPO法人みやぎ宅老連絡会

●賛助会員 30名

- ★仙台市 ●生活協同組合あいコープみやぎ ●中村祥子
- ★登米市 ●NPO法人どんぐりの家 石川志穂子
- ★福島県福島市 ●小沼亮

●情報会員 69名

- ★仙台市 ●共育を考える会 ●(公財)宮城県国際化協会
●(福)仙台市泉区社会福祉協議会
●つのだ歯科医院 角田哲

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。

特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。

これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便
振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

7月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

夏休みボランティア大募集

夏休みに障害のある子どもたちと一緒に遊んでくれるボランティアさんを大募集しています! 私たちと一緒に、素敵な夏休みの思い出を作ってみませんか?

- 内 容: 子供たちと一緒に出かけやお料理会などします
※昼食は企画に合わせてお弁当か、外食の場合は一部負担します
- 活動日時: 7月23日(月)~8月25日(土)まで 9:30~15:30
- 活動場所: ★小学部 ・つるがや(宮城野区鶴ヶ谷)
・どんぐり(宮城野区岩切)
★中高部 ・にこにこの家(宮城野区鶴ヶ谷)
・ぼかぼかの家(青葉区小松島)
※希望の方には最寄駅まで送迎があります
- 謝 礼: 1,000円(交通費)
- 主 催: (特活)コスモスクラブ
- 連 絡 先: 〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-17
TEL/FAX: 022-251-7333
E-mail: cosmosclub@gaea.ocn.ne.jp

第39期 仙台いのちの電話相談員養成講座

自殺予防を目的に、ひとり悩む人々の話に耳を傾ける電話相談機関です。活動に参加し、ボランティアをはじめませんか? ※詳細はHPをご確認ください。

- 研修期間: 2012年10月2日(火)~2014年9月(2年間)
- 場 所: 仙台市福祉プラザ、仙台市シルバーセンター 他
- 内 容: グループ演習、宿泊研修、講義
※期間等については要問合せ
- 応募資格: (1)23歳以上おおむね63歳までの方で、趣旨に賛同し積極的に参加できる方
(2)認定後、月2回ボランティアの電話相談員として活動できる方
(3)認定後も継続して所定の研修を受けることができる方
- 定 員: 30名
- 研修費用: 45,000円(前期・後期合計)
宿泊研修の宿泊費用の一部(15,000円)は別途負担
- 応募方法: 所定の申込書、参加する動機(800字程度)、自己史(2000字程度)を郵送にて申込
- 申込締切: 8月31日(金) 消印有効
- 審査・面接: 9月12日(水)、9月13日(木)
- 主 催: 社会福祉法人仙台いのちの電話
- 連 絡 先: 〒981-8691 郵便事業(株)仙台北支店私書箱26号
TEL: 022-718-4401
URL: <http://www6.ocn.ne.jp/~sen/>

ママパライン仙台 第6期電話 受け手ボランティア募集&養成講座

子育て中の方のための電話です。電話受け手ボランティア

を募集します。全講座受講後、スーパーバイザーによる審査を受け活動して頂きます。一般聴講も受け付けます。

- 日 時: ①9月5日(水) ②9月13日(木) ③9月20日(木)
④10月4日(木) ⑤10月11日(木)
10:30~15:30 (④のみ10:30~16:30)
- 場 所: 仙台市青年文化センター
- 内 容: ①「ママパライン仙台」の役割、児童・生徒と療育者の現状を考える
②保健福祉センターの子育て支援、綻ぶ家族の絆
③被災した子どもと親の心を支えるために、人と向き合うための自分らしさとは
④イクメンパパの子育て事情、傾聴とロールプレイ
⑤発達障害の理解と支援、子どもの人権と暴力
- 参 加 費: ボランティア希望者 3,000円(全講座資料代等)
一般聴講希望者 1講座500円
- 定 員: 20名
- 申込方法: 名前、年齢、メールアドレス、電話番号、FAX、住所、ボランティア希望か一般聴講を希望か(一般聴講の場合は希望の講座番号)を明記の上、TEL、FAX、E-mailにて申込
- 申込締切: 8月30日(木)
- 主 催: (特活)子どもNPO・子ども劇場全国センター
- 共 催: (特活)せんだい杜の子ども劇場
- 連 絡 先: 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX: 022-375-3548
E-mail: morinokodomo@s8.dion.ne.jp

有給スタッフ

自立援助ホーム「峠のまきば」職員募集

家庭で暮らすことが難しい若者に生活の場を提供し、就労と自立を支援する事業です。私たちと共に若者たちを支える職員を募集しています。

- 勤務場所: 大崎市田尻(住み込み可)
- 勤務時間: 水~日曜日 13:00~21:00(状況により変更あり)
- 応募資格: 23歳以上の方(男性寮のため、男性を優先します)
要普通運転免許
- 条 件: 委細面談の上決定します
- 応募方法: まずは下記連絡先のメールアドレス(担当中山宛)までご連絡ください

また、団体の活動活動展示説明会を開催します。

- 日 時: 8月26日(日) 13:30~15:30
- 場 所: 大崎市市民活動サポートセンター 大会議室
※時間内の入退場は自由
- 内 容: まきばフリースクールの活動を展示・紹介
個別相談にも応じます(要予約)
- 対 象: 発達障がい、ひきこもり、不登校など様々な生きづらさを抱えた方とご家族
まきばフリースクールの活動に興味関心をお持ちの方
- 参 加 費: 無料
- 申込方法: 個別相談を希望する方のみ、前日までご予約ください
- 主 催: (特活)まきばフリースクール

税 理 士 ・ 公 認 会 計 士 の 皆 様 へ

参加
無料

NPO法人会計基準セミナー

新しいNPO法人会計基準に移行するNPO法人が増えて
います。この機会にNPO法人会計基準をご理解いただき、
今後、NPO法人が信頼を得る会計報告を出させるよう、お
力添えを期待しております。

● 講座内容

- ・NPO法人会計基準の概要について
- ・財務諸表の作成支援について

＜仙台会場＞
8/28 仙台市産業情報プラザ セミナールーム(1) <AER 6F>
火 am 9:30～pm12:30

＜大崎会場＞
9/12 大崎生涯学習センター<パレットおおさき> 研修室1
水 am 9:30～pm12:30

認定NPO法人制度セミナー

認定NPO法人申請を手掛けた専門家が具体的な手続きについ
て、より実践的に解説します。NPO単独では難しい手続きです
ので、ぜひ、この制度を理解し、NPO法人が認定NPO法人の申
請へ踏み出せるよう支援をお願いいたします。

● 講座内容

- ・認定NPO法人制度の概要について
- ・認定要件について
- ・認定申請の支援について

＜仙台会場＞
8/28 仙台市産業情報プラザ セミナールーム(1) <AER 6F>
火 pm 13:30～pm16:30

＜大崎会場＞
9/12 大崎生涯学習センター<パレットおおさき> 研修室1
水 pm 13:30～pm16:30

- 講 師: 脇坂誠也氏 税理士/中小企業診断士
瀧谷和隆氏 (特活)NPO法人会計税務専門家ネットワーク理事・事務局長/税理士
● 対 象 者: 宮城県内の税理士、公認会計士等 ● 開催内容: 定員 各会場とも先着20名

※隔月で、会計の専門家と所轄庁、NPO支援組織が集い、事例を基にNPOの会計について共に学ぶ「NPO法人会計基準に関する
研究会」を開催しております。興味のある方は、研究会事務局(NPO法人杜の伝言板ゆるる ☎022-791-9323)までご一報ください。

● 主催: 宮城県 ● 企画・実施: (特活)杜の伝言板ゆるる ● 申込み・問い合わせ: 下記連絡先まで

みやぎNPOプラザ 災害復旧工事のお知らせ

みやぎNPOプラザでは、8月に東日本大震災の被害個所の復旧工事を行います。その間、貸室は研修室のみの貸出
となり、交流サロンは使用することができません。その他、工事の状況によって使用できなくなる場所がありますので、
使用の際は事前にお電話でご確認ください。皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。
(受付窓口、レターケース、ロッカー、印刷機、コピー機は使用できます)

工事の詳細を
案内中

みやぎNPOプラザ
☎022-256-0505

みやぎNPO情報ネット
http://www.miyagi-npo.gr.jp/

